

令和2年度
第1回 大館市木材利用推進会議

会議録

日時：令和2年9月25日（金）16：00～

会場：大館市総合福祉センター 3階 第1研修室

令和2年9月25日 第1回 大館市木材利用推進会議 出席者名簿

区分	所属	職名	氏名
委員長	産業部	部長	日景 浩樹
副委員長	建設部	部長	齋藤 和彦
委員	総務部	部長	虻川 正裕
委員	市民部	部長	石田 一雄
委員	福祉部	部長	成田 学
委員	観光交流スポーツ部	部長	工藤 剛
委員	教育委員会	次長	(欠席)
アドバイザー	秋田県立大学木材高度加工研究所	所長	高田 克彦
事務局	産業部林政課	課長	古川 泰之
	産業部林政課	課長補佐	小棚木 信晴
	産業部林政課木材産業係	主査	赤坂 祐幸
	産業部林政課木材産業係	主任主事	千葉 泰生
	建設部都市計画課営繕係	係長	久保田 武人
	建設部都市計画課営繕係	主任主事	鳥潟 昂秀

1 開会 委員長あいさつ

＜日景委員長（産業部長）＞

平成23年度に大館市木材利用基本方針を定め、公共建築物等への木材利用を率先して進めていくことにしているが、実際はあまり進んでいないのが現状である。本推進会議が計画策定の中心となり、課長補佐級を委員とする作業部会、議会への報告を経て、年度内の木材利用推進計画の公表を目標としたい。

2 森林資源と木材利用について

＜秋田県立大学木材高度加工研究所 所長 高田克彦氏＞

資料に沿って説明。

3 概要説明

大館市木材利用基本方針と会議の目的の説明＜事務局（古川）＞

大館市木材利用推進計画の説明＜事務局（千葉）＞

今年度のスケジュールの説明＜事務局（赤坂）＞

資料に沿って説明。

4 意見交換

＜齋藤副委員長（建設部長）＞

説明の内容に全面的に同意したい。

市内でも新築のほとんどは大手のハウスメーカーであり、国産材の利用は少ない。事務局には現状を知ってもらい木材利用に繋げてもらいたい。また、雑木（広葉樹）の利用にもチャレンジしてもらいたい。

＜虻川総務部長＞

日程が窮屈に思われるが、良い取り組みである。財政とのバランスも大切。

会議で使用する資料は、事前配布をお願いしたい。

計画の対象となる取り組みの番号（①～⑧）は優先順位を表しているのか。

⇒＜事務局＞番号は優先順位ではない。

＜石田市民部長＞

市民部としては、斎場建て替えの際に木材の利用を考えていきたい。

今年度、環境基本計画を策定する予定であり、その中にあるゼロカーボンの計画ともリンクしながら進めてもらいたい。

パブリックコメントによる意見は求めるのか。

⇒＜事務局＞スケジュールがタイトなので木材関連事業者からの意見聴取としたい。

＜成田福祉部長＞

屋内の遊び場整備の要望も寄せられているので、内装への木材利用を検討したい。子ども達のためにも、保育士の木育インストラクター取得を進めたい。木材の循環は、市内ではどのような循環が出来ているのか検証してもらいたい。

＜工藤観光交流スポーツ部長＞

他地区との交流が多い部署なので、大館の木材を都市部へ紹介していくなどの協力をしていきたい。

＜アドバイザー 秋田県立大学木材高度加工研究所 高田所長＞

木材利用に関して木高研では、治山ダム・木材プラスチック複合材料（WPC）・直交集成板（CLT）において手伝いが出来る。

地産地消と地産外消は上手に組み合わせなければならない。そのためには、「地産地消がどれくらいできているのか」「ポテンシャルはいかほどか」など、大館の現状をじっくり見ることは重要なことである。

○事務局からの連絡＜事務局（小棚木）＞

各部の庶務担当課及び木育・バイオマス等の関係課から作業部会委員を選出させていただいた。後日、部会委員の方へ案内するが各部長からも委員へお伝え願いたい。

～閉会～

第1回 大館市木材利用推進会議(令和2年9月25日)

